

大阪狭山の豊かな文化芸術を育むビジョン



～個性と魅力に満ちたさやま文化があふれるまち～



高林正啓

ビジョン策定の経過



ビジョン策定委員会（学識経験者等＝7人）

大阪狭山文化会議との意見交換

ビジョン検討協働会議（市と事業団＝13人）

市民アンケート

（16歳以上3,000人の内1,326人回答）

団体アンケート

（市民団体161団体の内101団体回答）

事業団理事長から市長へ提言（12月22日）

ビジョン素案パブリックコメント

ビジョン策定（3月）

今、なぜビジョンなのか



孟子

『天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず』
～事業を成功させるためには～

天の時(実行のタイミング) = 狭山池築造1400年

狭山池を核に「文化的に豊かな暮らし」の発信

地の利(立地条件)

新たな人材の確保と活用

人の和(団結)

市民の活動エネルギーの活用

市民・団体アンケート調査

～文化芸術のまちづくりにおける課題～



1. 多様で魅力的な催しへの高いニーズ
2. 団体メンバーの高齢化、指導者の不足
3. 子どもの体験・教育への高いニーズ
4. 高齢者、障がい者等への支援
5. 年齢層、居住歴による歴史文化への認知度に差
6. ニーズに応じた情報の受発信
7. 新たに注目すべき分野(食文化・スポーツ文化)
8. 文化関連施設の老朽化問題
9. 魅力的な都市景観への期待
10. 文化芸術活動の推進・支援体制等の構築



ビジョンの基本理念



～めざすべき方向性～

個性豊かで心を大切にする大阪狭山らしい文化芸術の創造と多様な主体が協働して取り組む「人づくり・暮らしづくり」

《まなぶ》

まちの歴史文化と文化芸術

《つくる》

いきいきとした暮らしと顔の見えるコミュニティづくり

《そだてる》

まちへの愛着と誇りにあふれる感性豊かな子どもの育成

《つなげる》

多様な人々の集いと交流

基本理念の展開



- 文化芸術とふれあう機会の充実と多様な活動の展開
- 文化芸術活動を支える人材（特に若者）・団体の育成
- 狭山池を中心とした歴史文化遺産の保存と活用
- 新たな地域文化の創造（食とスポーツ＝健康）
- 効率的、効果的な情報の受発信
- 文化施設の充実と活用、魅力的な景観づくり
- ビジョン実現のための推進及び検証体制づくり



ご静聴ありがとうございました。

市民の皆様に、魅力にあふれ、安全で安心、かつ、楽しく暮らし続けることができる大阪狭山市をめざしたいと思っておりますので、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。



高林正啓